

黒羽学園コミュニティスクールだより

2024年 第2号 作成：学校運営協議会広報部

◇◇◇◇◇ 第二回学校運営協議会 ◇◇◇◇◇ 熱議「黒羽地区への郷土愛について」

令和5年度に実施した児童生徒へのアンケートの中に、「将来、黒羽地区に住みたいと思いますか」という項目がありました。この質問に対して「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と肯定的な回答をした児童生徒は57.4%と、他の項目より顕著に低い結果となりました。そこで今回の熱議のテーマを「黒羽地区への郷土愛について」とし、委員の皆様から率直なご意見をいただくこととしました。3グループに分かれて熱議を行いました。どのグループでも様々な意見が出され、委員の皆様の黒羽を愛し、大切に、それを子供たちに引き継ぎたいという熱い思いを感じ取ることができました。皆様のご意見を参考にしながら、今後の黒羽学園の教育活動を改善していこうと考えています。

【熱議で出された意見（抜粋）】

「住みたい」と答えた児童生徒にはどうしてそう思うのか、「住みたくない」と思っている児童生徒にはどうしてそう思うのか理由を聞いてみる。そこから今後の方向性が見えてくるのではないかな。

地域のお祭りを活性化することで、祭りに参加することを楽しみにその時期だけでも戻ってくるのではないかな。

地域の大人たちが、子供たちを地域とどう関わらせるか考える必要がある。逆に子供たちには地域にどうしてほしいのか、どんなことに参加したいのか考えを聞きたい。

地域の大人を頼ってもらえれば、大抵のことには応えられる。

伝統芸能を、総合的な学習の時間などの学校教育と融合させると良い。

学校教育に協力してくださる方がたくさんいることで、いい地域だということをお子たちに気付いてもらいたい。



地域に安心感があると戻りたくなるのは。地域の人たちがコミュニケーションを取り合えることで安心して過ごせる地域だと感じられるのではないだろうか。

教員は入れ替わっていくが地域住民は変わらない。地域住民とのつながりを教員が代わってもしっかり引き継いでいくことが必要である。

須賀川・両郷などの小さなくくりではなく、黒羽全体を「地域」ととらえても良いのではないかな。

自然体験をたくさんさせると良い。

地元の良さを知る体験ツアーを企画してはどうか。

◆◆◆ 須賀川小学校 授業の様子 ◆◆◆



◇◇ 黒羽学園 小中一貫教育公開研究発表会について ◇◇

日時 令和6年12月17日(火)

13:40~受付 14:05開始予定

会場 黒羽中学校

内容 (1) 授業公開 (14:20~)

①小学6年 総合的な学習の時間

②中学3年 総合的な学習の時間

③中学2年 国語

(2) 研究発表 (15:25~)

①研究概要

「黒羽の人と地を育む教育の実現」を教育目標とした研究

②ICT活用推進事業について

